

これまでの取組

- 福島県を再生可能エネルギー先駆けの地とすべく、再生可能エネルギー設備導入や、再生可能エネルギー研究所創設を支援
- 福島浜通り地域の産業基盤の創出を目指す原動力としてイノベーション・コースト構想を推進（再エネを重要な柱に位置づけ）

新エネ社会構想

- イノベーション・コースト構想の新エネ分野を加速化
- その成果も活用しつつ、福島全县を未来の新エネ社会を先取りするモデル創出拠点とするための取組を推進

未来の新エネ社会のモデル創出

※下記例示に加え、構想実現会議での提案、議論を踏まえ具体的項目を追加

再エネの導入拡大

～福島への思いを受け止めた最大限の支援～

<産総研福島再エネ研究所>

- 日本唯一の新エネ特化型研究所の創設

継続して取り
組む事項

<福島浮体式洋上風力>

- 福島沖にて世界最大級の7000KW基

<他の地域には無い支援>

- 送電設備の整備や変電所の増強

<重要送電線の増強支援>

- 風力適地の阿武隈、双葉エリアから東京電力への送電線敷設を電力会社が参加した新しい仕組みで支援

水素社会実現のモデル構築

～世界に先駆けて再エネから水素を作り、貯め、使う～

<水素をつくる>

- 風力等による大規模水素製造
（世界最大となる1万KW級の実証）

<貯める、運ぶ>

- 次世代の水素輸送・貯蔵技術のフィールド実証
- 海外再エネを水素に転換して福島に輸入
（FS等実施）

<使う>

- 水素混焼発電
（IGCC等の活用による）
- 再エネ水素ステーションの整備

スマートコミュニティの創出

～再エネ・水素活用による復興まちづくりの後押し～

- 新地町、楢葉町における実証

- CO₂フリー水素タウンのモデル創出

- 全县大への展開（FS調査の実施）

再エネ先駆けの地へ

新エネ産業集積

※福島県内の企業の研究開発を重点支援するスキームの構築

未来の新エネ社会モデルの
世界への発信